

## 水着の取り扱いについて

### < F I N A 規定の概要 >

形状：水着が身体を覆う範囲

男性はへそを超えず、膝までとする。

女性は肩から膝までとする。ただし首、肩を覆うことはできない。

2. 素材は繊維のみとする。
3. 重ね着は、禁止とする。着用できる水着は一枚のみとする。
4. 水着あるいは身体へのテーピングは禁止とする。

F I N A に承認された水着には、F I N A 承認マークが水着に付いています。

< F I N A 主催の大会では F I N A の承認した水着を着用しなければならない。 >

### <国内規定>

国内で行われる本協会公式・公認競技会においては、水着の規定を次の通りといたします。

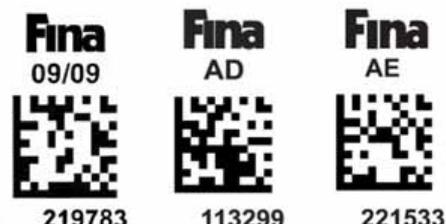
1. F I N A への世界新記録の申請、日本新記録の公認については、有効な F I N A 承認マークが付いた水着を着用して泳いだ記録のみを対象とする。(水着の確認を行う)
2. 素材については、繊維を中心とした水着とする。ラバー及び大きなパネル(空気を通さない素材)が貼ってある水着は、禁止とする。
3. 形状については、水着が身体を覆う範囲を次の通りとする。  
男性はへそを超えず、膝までとする。  
女性は肩から膝までとする。ただし首、肩を覆うことはできない。
4. F I N A の承認を受けていない水着でも使用可能とする。(ただし、素材、形状については、上記 2 項、3 項を守ること)

重ね着は禁止とし着用できる水着は一枚とするが、水泳用インナーショーツ(サポーター)などのモディスティースーツ(不適切な露出を避けることを目的とした水着)、女性用インナーパット(カップ)などの使用は認める。

現在有効な F I N A 承認マークは、右記のマークである。

水着につけられた、右のマーク。F I N A の文字の下の 09/09、AD、AE の記号は年度で変更あり。

最新の記号は AE である。



水着の改造は禁止。

テーピングを必要とする場合、必ず審判長の許可が必要。

高速水着と称される身体の締め付けがきつい水着を着用したスイマーの、大会会場での体調不良が多数報告されています。このような水着を着用する場合は、長時間の着用を避け、また自身の体調管理をしっかり行ってください。

	世界記録 日本記録の公認	国際大会(FINA 主催及 び FINA 公認)	世界記録・日本記録に 該当しない選手
水着の 規定	現在 FINA が承認している水着を着用すること WR：承認マークの写真撮影、コード番号確認 NR：審判長又は審判長が指示した競技役員が承認マークを確認	現在 FINA が承認している水着を着用すること(招集等で確認) 世界マスターズ以外の国際大会は主催大会独自のルールがあるので確認が必要	形状は FINA 公認のものに限る(ロングスパッツ等、身体を覆う範囲に制限あり) 素材は繊維を中心とした水着とする。 FINA 承認マークはなくてもよい。 インナーショーツ(サポーター)などのモディスティースーツ・女性用インナーパット(カップ)は使用可能。
禁止 事項	FINA 承認マークのついていない水着。 水着の重ね着禁止。 インナー・パット等の着用も禁止。	FINA 承認マークのついていない水着。 水着の重ね着禁止。 インナー・パット等の着用も禁止。	ラバー・ポリウレタン等の素材の水着、大きなパネルが貼ってある水着(素材の半分以上)は、禁止とする。 水着の重ね着禁止。 男性はへそを超えず、膝までとする。 女性は肩から膝までとする。ただし首、肩を覆うことはできない。
その他	日本では当日出場前に世界記録挑戦の申請が必要。その際に申請書に水着の承認コード等を記載。ゴーグル、キャップ、鼻栓、耳栓の使用は可能である。		